

長崎さるく 10周年 記念講演会



長崎さるく博'06の終了から10年が経った今、
全国各地では様々な“まちあるき”が生まれ
日々進化を続けています。

これから、求められる“まちあるき”とは？

まち歩き事業として初めて「第4回観光庁長官表彰」を受賞した
「大阪あそ歩」や、僧侶や大工等様々なガイドが所属する
「まいまい京都」の実例を紹介します！

日時：12月23日（祝・金）14：00～17：00

会場：ホテルセントヒル長崎（筑後町4-10）

申込締切：12月16日（金）

プログラム

参加料
無 料

13：30～14：00

受付（2階 妙見の間）

14：00～14：45

≪講演≫

「転換期を迎えたまち歩き～継続の意義と可能性～」

講師：茶谷 幸治氏

14：45～15：15

≪事例発表≫

「まいまい京都」について

発表者：まいまい京都代表 以倉 敬之氏

（休憩 15分）

15：30～17：00

≪パネルディスカッション≫

コーディネーター：茶谷 幸治氏

パネラー：田上 富久氏（長崎市長）

山口 純哉氏（長崎大学経済学部准教授）

山田 重昭氏（大阪あそ歩チーフプロデューサー）

以倉 敬之氏（まいまい京都代表）

平崎 保信氏（長崎さるくガイド）

鈴田 紘子さん（長崎さるくガイド）

コーディネーター・パネラー紹介

コーディネーター・茶谷 幸治 (ちやたに こうじ)

「長崎さるく博`06 (10年前)」コーディネーター・プロデューサー。1946年大阪生まれ。「南紀熊野体験博」や「しまなみ海道99」をプロデュースした後、「長崎さるく博`06」のプロデューサーとして長崎市民のみなさんと共に頑張った。その経験を活かして「大阪あそ歩」「名古屋やっとかめ文化祭」などをプロデュースし、全国に「まち歩き」を説いて回っている。

パネラー・田上 富久 (たうえ とみひさ)

現長崎市長。1956年生まれ。昭和55年に長崎市役所に入庁し、長崎さるく博`06には、当時観光振興課主幹として、さるくの立ち上げに関わった。平成19年から長崎市長を務める一方で、現役のさるくガイドでもあり、「長崎はローマだった」のコースなど自らガイドを務めることもある。

パネラー・山口 純哉 (やまぐち じゅんや)

長崎大学経済学部准教授。地域経済、地域づくりにかかる分野全般。学生も巻き込みながら、商店街、観光、高齢者福祉、子育て支援、地場産業などに関する調査・研究を進める。コミュニティ・ビジネス関連シンポジウムのコーディネーターやパネラー、行政によるコミュニティ・ビジネス支援委員会の委員などを務めている。

パネラー・山田 重昭 (やまだ しげあき)

1964年大阪市生まれ。チェーンストアでの全国勤務を経て大阪に戻る。「大阪あそ歩」には、2008年の発足時よりガイドとして参加。発足2コースのうち「住吉」を担当。2013年理事、2014年チーフ・プロデューサーに就任して事業全体をけん引している。他に祭りやバルなど、地元の地域行事やイベントにも関わっている。

パネラー・以倉 敬之 (いくら たかゆき)

まいまい京都事務局スタッフ。年間約600コースのまち歩きツアーを主催。大工の棟梁やお坊さん、妖怪の子孫など100人を越えるバラエティ豊かなガイドさんが特徴。税金ではなく参加費収入で運営するまち歩きツアーとして、注目を集めている。

パネラー・平崎 保信 (ひらさき やすのぶ)

1942年生まれ。`61年から長崎市民。`03年“市民の生活目線での道案内”を目標に長崎市ボランティア観光ガイドに登録。さるく博に参加し市民・運営スタッフ・さるくガイド一体となった“熱気”を体験。現在、失われている諸運営システムを、スタッフとガイドとの会話により信頼関係を強め、「市民力」を中心に「さるくガイド＝長崎方式」を創り上げましょう！ガイド14年目。

パネラー・鈴田 紘子 (すずた ひろこ)

1994年生まれ。現在大学4年生。長崎純心大学人間心理学科に所属。生まれも育ちも長崎で、卒業後は地元の報道関係へ就職する。長崎を学び長崎の職につきたいと思い、さるくガイド研修に参加。今年10月にさるくガイドとして認定され、先月から活動中。さるくガイドとしてのモットーは、笑顔を大切にすること。

【お問合せ】

長崎国際観光コンベンション協会 さるく推進部
電話：095-823-7423 担当：土橋、山口

